

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

11月16日(土)

先輩たちが築いた伝統をこれからも継承

西浅井中学校で創立50周年記念式典が開かれ、卒業生や来賓とともに祝いました。

同校は昭和45年に塩津、永原の2つの中学校が統合して誕生しました。在校生や来賓らが見守る中、記念碑の除幕式が行われ、体育館で同校の卒業生ではある元プロ野球選手木谷寿巳さんと島脇信也さん、近江高校出身の村西辰彦さんの3人が「夢」をテーマに記念講演を行いました。



11月17日(日)

地域全体で子育てを応援

リュートプラザで「ながまるフェスタ」が開催されました。

この催しは、市の様々な子育て支援施策を家庭に伝え、家庭と支援団体がふれあう機会として、家族の日にあわせて開催されました。親子コンサートや滋賀文教短期大学生による劇、縁日が楽しめる「ぶんぶん広場」や木製ブロックあそびコーナー、新聞紙で作るキッズアートなど盛りだくさんの催しが行われ、親子の笑顔があふれました。

11月27日(水)

仕事の魅力を知ってもらう「オープン市役所」

市役所の仕事の魅力を大学生や社会人にアピールする「オープン市役所」が開催されました。

会場は若手職員から直接話を聞ける8つのブースが設けられたほか、庁舎内を見学するツアーも行われました。参加者からは「仕事のやりがいは何ですか」や「仕事で嬉しかったことや辛かったことは何ですか」など様々な質問が寄せられ、職員の説明に熱心に聴き入っていました。



11月30日(土)

余呉地域の秋を堪能

ウッディパル余呉で、余呉をまるごと楽しめる「余呉秋の収穫祭」が開催されました。

食・特産品コーナーでは栃もちのぜんざいのふるまい、余呉米のPRイベントが行われたほか、余呉地域の歴史コーナーでは、焼き畑の写真や小原かごが展示され、賤ヶ岳合戦勉強会では余呉町出身の歴史城郭研究家の長谷川博美さんが、明智光秀をテーマに講演を行い、多くの人が参加しました。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちよびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

12月1日(日)

市の新シンボルが完成「さざなみタウン」

旧市役所跡地に「さざなみタウン」が完成し、竣工式が行われました。

式には、関係者らおよそ370人が出席し、テープカットで市の新しいシンボルのオープンを祝いました。

藤井市長はあいさつで、「多くの人々交流できる拠点できた。長浜の新たなまちづくりのきっかけとしたい」とさざなみタウンへの期待を語りました。



12月6日(金)~8日(日)

生命から湧き出る芸術

曳山博物館で「湖北のアール・ブリュット展2019」が行われました。アール・ブリュットとはフランス語で「生の芸術」と呼ばれるもので、作者自身の想像力から湧き上がる自然発生的な芸術表現のことです。

湖北在住のしょうがい者による作品などが並び、大胆なタッチの中に描かれる繊細な表現など、訪れる人々を魅了する力作が揃いました。

12月7日(土)

みんなが「つどう」駅前へ

えきまちテラス長浜でつどい感謝祭が行われました。この催しは、介護・農場・就労支援・子育て支援を行う認定NPO法人「つどい」が、地域住民との交流や情報交換、多くの出会いに感謝し、感謝の思いを伝える場となればと思われ催されました。

この日は、つきたてのお餅を使ったぜんざいの振舞いのほか、様々なステージが行われました。またこの日は、滋賀初出店となる久遠チョコレートがオープンし、多くの人で賑わいました。



12月7日(土)、8日(日)

学びでつながるウィンターフェス

「さざなみタウン」のオープニング祭の一環として、「ながはまコミュニティカレッジ」が開催されました。

さざなみタウンの各部屋を教室に見立て、2日間で56の講座が開講。講師も受講者も市民が担い、スマホのカメラ講座や男着物の着付け、漆喰塗り体験など多種多様な講座が開かれ、好きなことを話す先生、興味のあることを聞く生徒がイキイキと目を輝かせ楽しい時間を過ごしました。